

喜界町

図書館だより

2月号



【通算 第284号】

2020（令和2）年2月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート
図書館からのプレゼント!
(コットンバッグ・絵本)



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。

★（受け取りは0歳児のみ。ブックスタートの文書が届いたのち、図書館にご来館ください。）

製糖作業の今と昔 ～灯火親し 一服の茶に 黒砂糖～ 富田潮児

車で農道を走らせると、キビの刈り取りの最盛期、家族総出の手作業で汗を流している姿やハーベスタで大がかりな刈り取りをしている様子などが目に飛び込んできます。毎年同じような島の風景ですが、今年は台風による影響も少なく、例年にもましてサトウキビが豊作のようです。

梶嘉一郎著「喜界島風土記」によると、昔の製糖作業について「サトウキビから黒砂糖を製造する工程は相当過酷な労働を伴うもので、一軒の農家では到底こなせる作業量ではなく、親戚知人が4、5軒共同で砂糖製造小屋（サターヤー）をもって作業を行う仕組みになっていた。この砂糖小屋を中心としたグループを「マグミ」といって結びつきは固く、いわば基本的には相互扶助を目的としたもので、これによって厳しい労働を分担して互いに負担を軽くする方法がとられていた。ちなみに、大正8年頃、喜界島にはこのサターヤーが743カ所もあった」と記されています。

時代の流れにより機械化や大型化が進み共同で作業をすることも少なくなったと思いますが、伝統の「マグミ」の精神だけは引き継ぎつつ、品質が良く喜界島の基幹産業でもある製糖業が益々発展することを願わずにはられません。

上記の梶（こしらえ）嘉一郎氏におかれましては、2018年12月東京都においてご逝去(享年104歳)なされたということで、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

大満足「ぬいぐるみおとまり会」

12月7日（土）のクリスマスおはなし会の後に、図書館でぬいぐるみがおとまりをするイベントがありました。小学3年生までを対象に募集したところ7組の応募がありました。ぬいぐるみたちは、みんなでおとまりをして、本の貸出をしたり自分の好きな本を読んだりして、大満足な時間を過ごしていました。



盛り上がった「年始めイベント」

1月4日（土）に恒例のお正月おはなし会が行われ親子で24名の参加がありました。おはなし会では、お正月に関する絵本の読み聞かせやクイズ、手遊び、福笑い、お手玉などで大いに盛り上がりました。

また、1月4日から7日まで、ことばくじや福袋本の貸出などで多くの人が正月らしさを味わっていました。



おしらせ

本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。興味のある方は、図書館へ連絡ください。

出張訪問行っています！

喜界町図書館では、読書の楽しさを広く知ってもらうために、図書館職員による出張訪問を行っています。今年度もこれまで、早町小学校やのぞみ幼稚園、子育て支援教室の発表会等に図書館職員が出向き、絵本の読み聞かせなどを行ってきました。

図書館職員の出張訪問を希望される団体や施設等は、お気軽に図書館へご相談ください。



令和元年度一般図書貸出ランキング

(令和元年12月末日現在)

1	いも殿さま	土橋 章宏 著
1	呪護	今野 敏 著
3	機捜235	今野 敏 著
4	帰還	堂場 瞬一 著
4	ノースライト	横山 秀夫 著
4	不祥事	池井戸 潤 著
7	ザ・ウォール	堂場 瞬一 著
7	氷獄	海堂 尊 著
9	東京クライシス	安生 正 著
10	東京の子	藤井 太洋 著
10	ノーサイド・ゲーム	池井戸 潤 著
10	笑え、シャイロック	中山 七里 著

～図書館からのお願い～

返却期日が過ぎている本をお持ちの方は、早めの返却をお願いいたします。